

空想の世界を形にしたい



令和2年度長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】絵画部門 優秀賞
第45回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2021 長崎県代表選抜作品

『ニッポンの夜明けせよ!』

大海原に突然現れた、蛸たこに内包されているご神木や七福神、お城や鶴など、和を象徴する物たちが、賑やかでおめでたい雰囲気をつもっています。同時に、神や命いのちに対する畏敬の念や、自然への感謝の気持ちを感じさせてくれますね。

今年8月、和歌山県で開催予定の全国総文祭に県代表として出品される作品です。

ここに注目!

官製談合! 再び!

再発防止策… 生かされず!

はさみ

No.153 令和3年2月号

議会だより

今月の
はさみの人

まつだ
松田 ゆずはさん
波佐見高校 美術・工芸科 2年



調査特別委員会を設置！

令和2年11月30日付で波佐見町議会委員会条例第5条に基づき、議会の議決により、「官製談合再発防止等調査特別委員会」を設置しました。

＜特別委員会設置の趣旨＞

本町では、平成29年12月に「官製談合防止法違反と公契約関係競売入札妨害」の容疑で町職員と落札業者の社員が逮捕された。その後、町長をはじめ、執行部において再発防止に取り組んできたものの、令和2年9月16日に再び同様の事件が発生した。

このことを受け、町議会は、町長をはじめとする町職員の官製談合再発防止への取り組みに改善が見られないことに注視し、三度同様の事件や職員の不祥事が発生しないことを目的に本特別委員会を設置した。

＜町長はどのような取り組みを行っているのか＞

副町長を委員長とする「官製談合防止法違反に係る再発防止検討委員会」を設置し、再発防止に取り組んでいる。

1 委員会の構成員

構成員は、副町長と各課の課長及び教育次長、議会事務局長、給食センター長の16名。

2 委員会の目的

再発防止に係るルールづくりを行う。

3 2部会を設置し、防止策を検討する。

第1部会 部会長：企画財政課長

協議内容：入札、契約、随意契約に関すること。

第2部会 部会長：総務課長

協議内容：倫理規程の条例化、コンプライアンス・ガイドラインの見直しの必要性について検討。

令和2年
第5回
臨時会

官製談合再発防止等

< 特別委員会の取り組み >

本特別委員会は、委員長を北村清美議員、副委員長を田添有喜議員とし、議長を除く13名の議員で構成した。

再発防止に対して早急に見直しと改善を求めるため、設置後4回に渡る委員会を開催し、1月15日に提言書を町長へ提出した。

提言書の内容は次のとおりである。

今後も引き続き、短期及び長期的に提言を行っていく。



委員長
北村清美

再発防止に対する提言

※大項目抜粋

- (1) 公務員倫理の啓発、徹底を図ること。
- (2) 組織体制の見直しと改善を図ること。
- (3) 風通しの良い職場づくりに努めること。
- (4) 職員研修のさらなる充実を図ること。
- (5) 公益通報の処理に関する制度を早急に整備すること。
- (6) 働きかけ制限について再確認と徹底を図ること。
- (7) 部外者との接見の見直しを図ること。



逮捕された
職員の
供述

- 子どもたちの授業に迷惑がかからないように。
- 当該業者が受注すると、町が潤う。
- 他の工事なども真摯に対応してもらっていて信頼があった。
- 自分の事務負担が早く軽くなると思った。

この背景に
何が
あるのか?

町長及び副町長の減給案



町発注の指名競争入札で設計金額を業者に漏らしたとして9月16日に町職員が逮捕された。12月4日の有罪判決を受けて、町は7日に町長と副町長の減給処分を議会の議決なしに、ホームページやマスコミに公表した。

議会は詳しい経過報告や再発防止策とこれからの対応、対策が何もなされないままの処分の公表は許されないと強く反発した。

町においては、平成29年にも官製談合防止法違反により逮捕者を出しており、再発防止に取り組んでいたというが、管理監督責任や再発防止への熱意が感じられないとして、議会は町長、副町長の給与を減ずる条例改正案に議長を除く議員13人のうち10人が反対し、否決した。また、前教育長に処分がなかったことにも不満が残った。

これにより、町は新たな再発防止策をまとめたうえで再び対策案を議会に諮ることとなった。

反対討論

三石 孝 議員

町長は、波佐見町規模の町では職員数が一番少ないと発信する。職員は仕事量が増し、休みも取れず、苦しんでいる。

これを作ったのが、一瀬長期政権である。職員は懲戒免職、町長は減給では納得できない。

城後 光 議員

町長、副町長には事件発生後の対応を踏まえ、次の理由により、職を辞すべきと考える。コンプライアンス意識の欠如、管理監督責任者としての意識のなさ、議会との信頼関係の崩壊。

横山 聖代 議員

前回の事件後の防止策は功を奏していない。まずは職場環境の改善が必要である。今年度中に原因究明及び対策案を講じ、その後様々な事を十分考慮したうえで、自らの処分を決めていただきたい。

藤川 法男 議員

町民の代表である議会の議決なしに新聞等に伝えた。長年の議員生活で初めてであり、許しがたい。3年前にも同じような事件があり、職員が懲戒免職となっている。役場組織の改善が見られない。

波佐見町歴史文化交流館(仮称)整備工事 請負契約の変更



今回で3回目の変更99万5500円を増額
変更後請負金額は、2億7391万9800円に



今回変更内容

- ・正面玄関砂壁塗装、特別収蔵庫気密工事、特別展示室ピクチャー及び作業室ブラインド、新型コロナ対策 など

反対討論

当初の契約は、令和元年6月18日であるが、変更契約が今回で3回目となる。

変更額の合計は2020万円を超える。税金を湯水のように使い、変更ばかり行うことに町民からも批判がある。100万円ぐらいどうにかなるはず。

三石 孝 議員

賛成討論

現在、施設建設が行われているが展示施設整備はこれから本格化する。今後、施設に関係する方の意見を踏まえ、施設の最適化のためには、請負内容の変更はいたし方ない考える。

ただし、賛成するには条件付であり、進捗について情報開示をしっかりと行っていただきたい。

城後 光 議員

～なり手不足の打開策となるか～

町議員にも公費負担制度 導入 **可決**

町村議会議員のなり手不足は全国的に問題となっていますが、本町でも昨年の一般選挙は町政始まって以来初の無投票となっ
てしまいました。立候補にあたって選挙費用の負担が大きいこ
とがその要因の一つと指摘されています。

そこで国は「公職選挙法」を一部改正し、町村長及び町村議
会議員の選挙にも「公費負担制度」を導入することにしました。

対象は？	選挙カー、ビラ、ポスター	・金額や枚数に制限あり ・ビラはこれまでの議員選挙では禁止
供託金は？	町長…50万円 議員…15万円（新設）	・立候補者が寄託するお金 ・法定得票数に達しない場合は没収
いつから？	令和2年12月12日施行	・次回の選挙から
注意点は？	法定得票数に達しないと公費負担制度の対象となりません。	

ご存じですか？

年賀状等の挨拶状は禁止されています

公職選挙法は様々な禁止事項を定めています。中でも意外と知られていないのが、年賀状等の挨拶状に関する禁止規定です。これには暑中見舞いや喪中欠礼ハガキも含まれます。議員は選挙区内の人に挨拶状を出すことはできないのです。ただし、すべて手書きの答礼のあいさつ状であれば許されています。

議員年金はありません

地方議員の場合、平成23年度に廃止されています。

政務活動費は本町議員にはありません

個人で行う政務調査やそれに係る事務費は議員報酬で賄います。

選挙カーも
公費負担

※看板とスピー
カーは対象外



一般会計は総額112億4200万円に 今回補正（第6号）8億5200万円を追加

今回、第6号目となる一般会計補正予算は、人事院勧告に伴う人件費の改定、ふるさとづくり応援寄附金の収入見込みなどの補正が計上され、内容について慎重に審議されました。質疑の一部を掲載します。

補正予算 Q&A

Q ふるさとづくり応援寄附金の12月の現状は。

A 14日までに2億4500万円の寄附があっている。
(参考：令和2年度累計 11月末時点 30,082件 7億8251万7700円)

Q アスベストの調査はどの棟が対象か。

A 役場本館、別館、シルバー人材センターなど合計37検体。

Q 第4分団の消防詰所は新築工事したばかりだが追加工事の内容は。

A 車庫下の油がしみ込まないように舗装をしてほしいと分団から要望があったもの。

Q 児童・生徒に配布されるタブレットの保管や充電方法は。

A 各クラスに電源保管庫を購入、設置し一斉に充電できるよう併せて電源工事を行う。

賛否表

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わりません。

		澤田昭則	岡村真由美	田添有喜	岡村達馬	福田勝也	城後光	横山聖代	三石孝	北村清美	脇坂正孝	藤川法男	今井泰照	尾上和孝	会議の結果
11月臨時会	条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12月定例会	補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	○	●	否決
	取財得産	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	契約	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	可決

委員長あいさつ



議長
百武 辰美

波佐見町議会

昨年11月より新体制になって4カ月ほど経過しました。
昨年末は、新型コロナウイルス感染症対策に加え、官製談合事件の対応に追われました。

官製談合については、新しく官製談合再発防止等調査特別委員会を設置し、三度このような事件が起こらないよう、行政の監視・防止策への助言などを行なってまいります。

また、議会運営では、無投票選挙の検討課題として「議員定数」の調査研究を始めております。また、ペーパーレス化を目指すためのタブレット導入に向けた取り組みも併せて進めております。

心がけていることは、議員同士の自由で活発な議論を行うということです。14名の議員が様々な角度から自由な議論を重ねることで、町民の皆さんにとってより良い施策を見出してまいります。

そのためには、皆さんからのご意見を聞くことが大切になってまいります。

皆さんのご意見をお寄せください。どうぞよろしく願いいたします。

議会運営委員会

この度、委員長になりました城後です。
議会の円滑な運営に尽力してまいります。

さて、この度の議会運営委員会には、議長より以下2項目について諮問がなされました。

1点目は、議会タブレット導入を始めとする議会のIT化推進、
2点目は、議員定数・報酬についてのあり方の検討です。

今回の町議会議員選挙は無投票となりました。町民に議会の存在価値を認めていただき、議員のなり手を確保するためにも、他市町の議会改革手法を参考にしながら、最善策について議会内での議論を深めていきます。

また、議会が町民の方にとってより身近になるよう、議場環境の整備、傍聴手段の多様化など、これまで改善が求められていて、実現できなかった課題にも積極的に取り組んでいきます。

加えて、これまでに増して他議会との情報交換頻度を増やし、議論の仕方、広報のやり方、議会運営のあり方についても、より良い手法を研究していきたいと考えています。

町民の方にとって、より開かれた議会となるよう改善を続けてまいりますので、ご意見をよろしく願いいたします。



委員長
城後 光



新体制 議長



総務文教委員会



委員長
脇坂 正孝

本委員会は、本町議会に設置してある常任委員会の一つで、議員7人で構成しています。

総務課、企画財政課、税務課、住民福祉課（戸籍班の分掌事項）、会計課、選挙管理委員会、監査委員、教育委員会の所管に関する事項などを審査します。

委員会は、委員が発議する議案、本会議から付託された議案や請願などを詳細かつ専門的に審査します。したがって、本会議に比べて、より自由な発言が認められています。

11月から新体制でスタートしましたが、すでに条例2件の審議を終え、本会議に結果を報告しました。

また、請願1件を審議中です。

自然災害の多発や新型コロナウイルスの感染拡大防止など、行政は今後ますます複雑多岐となり、量も増大することが予測されます。このような中で、委員会としては、本会議で手の届かないところまで行き届いた審議をすることが必要です。

町民皆様の声をできるだけ生かし、執行部のチェックは勿論、提言を加えて、よりよき町づくりの一助になるよう、努めていく所存です。



産業厚生委員会



委員長
三石 孝

コロナ禍での経済活動推進と感染拡大防止の両立は、これまで経験したことない出来事で世界を震撼させている。

しかし、これまで幾多の困難を克服してきた人類は、英知を絞り、ワクチンや特效薬の開発などで、この危機的状況を乗り越えていくであろう。

新たな経済活動では、テレワークにネット・デジタル化が推進され、今までの方法からの転換が求められている。

また、生活面はマスク着用ソーシャルディスタンス、イベントの縮小化など、人の移動や接触のないスタイルへと舵を取らざるを得ない状況である。

改めて考えてみると、『産業とは』生活をしていくための仕事であり、『厚生とは』人々の生活を健康で豊かなものにするものである。

まさしく、コロナ禍での経済活動推進と感染拡大防止対策の両立を担当するのが、当委員会であることに気付く。

波佐見町の産業厚生に関する政策が、町民に行き届くものになるよう気を引き締めて臨みたい。



12人が登壇

12月定例会には
のべ40人の傍聴がありました。

・60代 男性

議員が使っている資料を傍聴者にもよく見えるようにしてほしい。

・40代 男性

町長は（官製談合事件）責任上辞めたほうが良い。

長期政権のおごりです。



傍聴者の声

・60代 男性

傍聴席にはお茶がないのはなぜか。

答 コロナ対策のため、
出していません。

川の立木は町が伐採しないので、県議が県に申し出てきれいになった。

（甲長野郷地区）

・60代 男性

質問者のパネルや資料等、傍聴席から見えないので、議場に映し出せるようにしてほしい。

談合事件について、議員自らもどのように取り組んだのかという自省を胸に建設的な議論を望みたい。

・70代以上 男性

質問内容を事前にホームページで確認することができた。

ホームページを見る環境がない方の対応は。

登壇日時に変更がある場合、ホームページで記載できないか。

12月
定例会

一般質問

令和2年12月定例会では12人が下記の内容で一般質問を行いました。

※は掲載項目です。12月定例会会議録は2月中旬ごろ町ホームページへ掲載します。

[Http://www.town.hasami.lg.jp](http://www.town.hasami.lg.jp)



ページ	議員名、質問項目	ページ	議員名、質問項目
16 ・ 17 ペ ー ジ	澤田 昭則 ※・波佐見町歴史文化交流館（仮称）	12 ・ 13 ペ ー ジ	横山 聖代 ※・官製談合 ※・飼い主がいないネコ問題
	今井 泰照 ※・河川的环境保全 ※・コロナ対策		田添 有喜 ※・住民の安全・安心な生活環境保持 ※・交通環境の整備・改善
	岡村 真由美 ※・「波佐見ケーブルテレビ」の整備及び加入状況 ※・小中学校の「支援員」		岡村 達馬 ※・西ノ原土地地区画整理事業 ・災害発生時の緊急避難対策
18 ・ 19 ペ ー ジ	脇坂 正孝 ※・官製談合の再発防止と職員の綱紀粛正 ※・ジャンボタニシの生育拡大対策 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う支援策	14 ・ 15 ペ ー ジ	藤川 法男 ・波佐見町の産業振興 ※・公共事業の優先順位と進め方 ※・官製談合
	福田 勝也 ※・教育行政 ※・スポーツ振興		城後 光 ※・官製談合事件の発生の経緯と再発防止対策 ※・町内の公的インターネット環境整備
	三石 孝 ※・桜づつみ河川公園遊歩道の管理 ※・行政の情報等伝達方法 ・今回の官製談合事件		北村 清美 ・定住奨励金制度 ※・今後の消防団のあり方 ※・下水道及び合併浄化槽

のに



田添 有喜 議員

近年、毎年のように住民を脅かすほどの大雨や台風が発生している。そのような中であって、一向に河川整備が進んでいない。

議員 河川法には、管理者（県知事）は、整備基本方針や整備計画を定め

いない。

議員 河川整備について、県にどのような働きかけを行ったのか。

町長 令和元年4月と2年4月に、浚渫※、伐採の要望書を提出した。2年度事業として、皿山川の浚渫工事が計画されている

浚渫工事を行っている。

※浚渫：河川の底面をさらって土砂などを取り去ること。

高齢化や防災に強い町づくりを考えた時、交通環境（県道・町道・農道）を整備・改善することは、町民の大

理解と協力をいただき、よりよい道路整備に努める。



宿の歩道

引取った猫の殺処分率は

町長

30年度 94%
元年度 90.6%



横山 聖代 議員

猫の被害で困っている方は、野良猫がこれ以上増えると迷惑する。猫を保護している方は、殺処分される猫を増やしたくない。

議員 今後、解決手法をどう考えるか。

町長 繁殖を抑えることが有効と考える。

議員 繁殖制限を目的としたTNR活動※を推進すべきではないか。

※TNR活動：不妊去勢手術後元の場所に戻し、地域猫として限りある命を全うさせることを目的とする。



飼い主のいない猫への苦情や殺処分の減少に寄与する活動。

町長 行政主導ではなく、熱意ある人達の活動に対して、行政がバックアップしていればと考える。

12月4日に判決が出され、7日に処分が決定された。

議員 初公判で本町の組織の体質も指摘されていた。どのように受け止めたか。

町長 休日出勤をするほど多忙だった。工事を事務職が担当するなど、役場の組織体制・職員の職務環境を整えていく必要があると考えている。

議員 処分に情状酌量を求めるため、3825名の署名入り要望書が提出されたが、どのような考慮をしたのか。

つぶやき

人は誰だって多忙すぎると正常な判断能力を失う。職場環境の改善が職員を守り、ひいては町民サービスにつながると思う。

町長 勤務の状況についてもあった。しかし、どうしても懲戒免職はやむを得ないという意見でほぼ一致した。



岡村 達馬 議員

土地区画整理事業の期間は

町長

明確な期間は示せない

議員

町が実施している公共事業であり、関係

町長 西ノ原地区の活性化の推進、危険な県道の安全対策、地区内の推進被害を同時に解決する手段として取り組んだ。

議員

都市整備手法の中から、なぜ土地区画整理事業に取り組んだのか。

西ノ原土地区画整理事業は、着工から23年経つが、事業が進まず、関係者を困らせている。



進まない土地区画整理事業

町長

現段階では示せない。

者や町民に完成までの明確な期間と道順を示すべきであるが、どうか。

町長

地区関係者がそういう状況にあるのは承知している。今後どのような

町長 関係者の協力を強く得ながら、なぜ町は積極的に取り組まないのか。事業の長期化により関係者は、生活や人生設計ができないでいる。町はどう対応するのか具体的な説明を。

議員

関係者の協力を強く得ながら、なぜ町は積極的に取り組まないのか。事業の長期化により関係者は、生活や人生設計ができないでいる。町はどう対応するのか具体的な説明を。

町長

事業の適正な施工を確保するためである。

議員

町は区域内の土地や家屋に改築・移動などの制限を厳しく掛けているが、なぜか。

町単独で河川整備はできる

町長

県には要望している

町長

県の整備計画には、「治水、利水、環境」の代表者で協議された計画なので、追加・要望はして

る時に、市町村長の意見を聴かなければならないと なっている。これまで町長 はどのような意見・要望をしたのか



稗木場春田橋の状態

る。町の事業として、三股川、永尾川、日見須川の浚

議員

高齢化が進む中、また身体に障がいを持つたれている方が生活しやすい歩道の整備が行われているか。

きな願いである。

町長

道路用地の確保や事業費に対する町民の



関係者は、町の事業に対する主体性と責任のなさから振り回され、生活や人生設計を破壊されている。こんな公共事業ってありますか。

に進めて行くか、関係者と検討・協議したい。



町長の一声で、河川整備はできるのに。どうしてやらないのか。河川法十六条の三に定めてあるのに。町民の生命と財産を守ってほしい。



城後 光 議員

再発防止策が取られたにもかかわらず、再び官製談合防止法違反により職員が逮捕起訴された。公判では携帯電話の使用、相見積り方法に問題ありとの指摘がなされた。

議員 通常業務が立て込んでいることに加え、補正予算などで職員に過度な負担が掛かっていたことが事件の一因とされている。配慮はできていたのか。
町長 職務環境は、業務量に則した対応ができていない。

議員 行政全般においてICT※をさらに活用すべく、専用人材を職員として受け入れる考えは。
※ICT：情報通信技術。
町長 総務省からアドバイザーの派遣などがなされているので、検討したい。



GoogleOS 搭載タブレット例

今後の道路整備は

町長

財源調整し推進する



藤川 法男 議員

町道整備など公共工事の優先順位を示せ。

議員 自治会から要望がある町道や通学路などの整備が進んでいないが、どの様に推進するのか。今後、新庁舎建設など多額の予算措置を要するが。

町長 令和2年度に中央小改築分1900万円、4年度に総合文化会館建設分6100万円の償還が完済する。
過去最大の大型事業の町債が完済することから、財



朝の通学風景

源など調整し町道などの事業を推進する。

去年9月に発覚した官製談合事件後は、どうなったか。
議員 事件発覚の町民への説明と謝罪は十分か。10月の広報誌などで説明とお詫びをし、ホームページなどで関係者の処分を周知した。謝罪は十分と思っていないが、誠意を尽くして職務を遂行し、信頼回復に努め今以上に町を発展させていくことが謝罪につながると思う。
議員 9月議会で議員全員が問責決議を可決し

つばき
官製談合の町民への説明に誠意が感じられない。要望の道路整備は、予算を確保し早急に進めてほしい。

町長

この官製談合事件とは全く関係がない。

た。また町長は県町村会会長・九州町村会副会長を兼務しているが、この事件をどう考えているのか。



北村 清美 議員

下水道と浄化槽の普及を

町長

積極的に推進する

議員 人口減少のひずみが各所に見られ、特にインフラ整備に格差が生じている。

町長 下水道と浄化槽施設整備普及率は、公共下水道汚水処理人口の普及率46%、浄化槽普及率32%、汚水処理人口は78%になっており、普及率は年々増加している。

議員 問題点と今後の課題は。

町長 下水道においては、使用料収入向上で施設維持管理を保っていきけるが、将来的には老朽化する

議員 現状の定数と待遇は。

町長 条例定数330名で現在の団員数は312名。一般団員の年間報酬額は、26000円で水災の出動手当は一回2500円。近隣町と遜色ない。

議員 消防団における若年層の減少で定員割れが生じている。

町長 施設の更新費用の増大が考えられる。合併浄化槽については普及率向上に積極的に促進していく方法を検討する。

議員 問題点と将来の方針は。

町長 一番の問題点は団員の確保。啓発などを含め、自治会と協力して進めていく。今後の方針は、



出初式での行進の様子

資機材や詰所などを計画的に更新・充実を図る。また、活動を広報誌に紹介し周知を図る。これからも団員の環境改善に努めたい。



つばやき
相変わらず
執行部の答弁は歯切れが悪い。もう少し真剣に
対策を考えなきゃ。

庁舎 Wi-Fi 整備は

町長

玄関周辺で試行的に行いたい

議員 事件の発生要因をどのように捉え、対策をどう進めるのか。

町長 業務に追われ、周りが見えなくなってしまうのではないかと。このようなことがないよう役場全体の組織を見直し、職場環境を良くしたい。

かかった。

新年度より小中学校に1人一台タブレットが配布される。国ではデジタル庁を立ち上げ、行政の旗振り役を担うことが期待される。一方、本町は他町と比べて遅れている。

議員 庁舎にWi-Fi整備を進める考えは。

町長 庁舎ロビーの一部に、試験的に町民向けの無料Wi-Fiエリアを設け、どのような利用がなされるか検証したい。



つばやき
度重なる
官製談合事件で
役場に対する信頼は地に
落ちてしまった。町の信頼
回復のためにも、議会と
して全力で支えたい。



今井 泰照 議員

議員 本町を流れる川棚川の樹木の伐採や浚渫は、管理者である県に要望している。

議員 樹木の伐採については大きくなる前に町での対応はできないか。

町長 ひどいところは、環境美化作業員に依頼してもいいかと思う。

議員 新型コロナウイルスの感染者は、全国各地で日々増加するとともに、重症化している。

議員 これまでのコロナ対策の財源と使途は。

町長 財源については、主に「ふるさとづくり

レミアム商品券、新生児特別定額給付金、高齢者のインフルエンザ接種費など生活支援から経済対策まで、多種多様な事業を実施している。

議員 今後の新たな対策の考えは。

町長 必要な事態になれば速やかに対応をしていきたい。

町民に施設の企画と運営の周知を

教育長

町の活性化に寄与させたい



澤田 昭則 議員

議員 波佐見町歴史文化交流館（仮称）は、本町の歴史的価値を高める施設である。また情報発信や交流の拠点となる。

議員 ウェイブホールのように愛称は付けられないか。

教育長 公募を予定。

議員 正式な開館日と休館日、入館料は。

教育長 開館日は、令和3年4月28日で休館日は、平日の火曜日。入館料は、無料の方向で進めており特



工事中の歴史文化交流館（仮称）

議員 別展の場合は、有料で検討。プレオープン（町民先行見学などの）の企画は、計画されているか。町民が事前に来館できるといいか。

教育長 町民が事前に来館できるといいか。

議員 開館にあたりボランティアスタッフの募集は。

教育長 職員では十分対応できないので地域の方々の協力があれば助かる。

議員 施設近隣周辺の交通安全対策で交差点電柱移設や信号機設置などは。

教育長 どちらも設置は、難しい。

議員 施設の案内板や本町の観光案内看板の計画は。

教育長 案内看板と誘導看板を検討。

議員 講座室や交流室は、事前に予約して利用できるか。

教育長 町民ギャラリーとして利用できるよう計

画。

「ようこそ波佐見町へ！」おもてなしの心で来られる方を歓迎したい。交流・観光の拠点としても期待できる。



岡村 真由美 議員

波佐見チャンネル、
うち家でも観たい

町長

前向きに取り組んで
いきたい

と身近に感じてもらう意味

議員

進まない。町政をもっ

で「民間でできることは民間

の考えに変わりにない。

てもらいたい感謝しているが、

行政情報の発信の面

で大きな効果を上げ

る考えはないか。

完全整備に向けて対策を取

る考えはないか。

ネット鹿島の業績を

どう評価しているか。

ケーブルテレビは町政を

身近に感じられるものだが、

現在でも視聴できない世帯

が多く残っている。



波佐見営業所

大きな形で取り組む。

去に補助した実績がなく公

正公平の点で難しいが前向

町長

要望が出ている。過

でも、町は情報格差の是正

に努力すべきである。

野々川からも支援の

要望が出ている。過

でも、町は情報格差の是正

に努力すべきである。

野々川からも支援の

要望が出ている。過

でも、町は情報格差の是正

に努力すべきである。

野々川からも支援の

要望が出ている。過

でも、町は情報格差の是正

に努力すべきである。

野々川からも支援の

要望が出ている。過

コロナ対策の新たな支援は

町長

必要な対策は
実施したい



大きくなる前に樹木の伐採を

免除、学校給食費支援、プ

金に始まり、水道基本料の

給や20万円の緊急経営給付

として事業者向けの利子補

給や20万円の緊急経営給付

として事業者向けの利子補

給や20万円の緊急経営給付

として事業者向けの利子補

給や20万円の緊急経営給付

として事業者向けの利子補

給や20万円の緊急経営給付

として事業者向けの利子補

本町の主なコロナ対策予算（抜粋）

項目	金額
緊急経営給付金	1億6000万円
プレミアム商品券事業	1億3682万円
上水道会計補助金	3130万円
産地パワーアップ緊急支援事業補助金	2900万円
インフルエンザワクチン接種費	1315万円

備の要望が出ている。

が授業に専念できる環境整

備の要望が出ている。

が授業に専念できる環境整

備の要望が出ている。

が授業に専念できる環境整

備の要望が出ている。

が授業に専念できる環境整

備の要望が出ている。

が授業に専念できる環境整

備の要望が出ている。

が授業に専念できる環境整

備の要望が出ている。

が授業に専念できる環境整

備の要望が出ている。

が授業に専念できる環境整

備の要望が出ている。

つぶやき

完全に整備

されれば加入も増え、

町も町民も更に元気になれ

る。ケーブルテレビには

その力がある。

教育長

検討したい。

議員

生徒への個別の対応

は不十分である。波

高商業科の先生や生徒に支

援をお願いしてはどうか。

つぶやき

本町のコロナ

対策は、手厚い支

援ができていると思う。

「ふるさとづくり応援基金」

を活用して経済的に苦し

い方々の支援をして

もらいたい。

を



福田 勝也 議員

本町の児童、生徒の学力については、毎年行われる県学力調査・全国学力学習状況調査によると、小学校は全国平均より低位、中学校においても教科によって全国を下回っている。

担当教諭の補佐として、学習面で支援が必要な児童・生徒を中心に個別に授業の課題の指導を行っている。中学校における部活動については、働き方改革により、国は「必ずしも教員が担う必要のない業務」とい



波佐見中学校部活動の活躍

官製談合再発防止策の公表時期は

町長

3月を目途とする



脇坂 正孝 議員

9月議会で「官製談合の再発防止と職員の綱紀粛正を求める決議」が議決された。

不祥事発生の原因は、

3月議会に空調機設置工事の議案提出を

というプレッシャーがあり、超えてはならない一線を越えたと思う。余裕を持って仕事に取り組める職場環境づくりを図りたい。

再発防止策の要点とタイムスケジュールは、

防止策は、入札制度の見直し、職員倫理

規程の条例化、法令遵守ガイドラインの見直し、Q&Aの作成など現在協議中である。時期は3月を目途としたい。

入札制度の見直しは、

それぞれの事務を再点検することで、再

発防止策を検討している。

危機管理委員会(仮称)を常設する考えはないか。

管理協議会を毎月1回開いている。特別

の組織は考えていない。

ジャンボタニシの生育拡大が見られる。

町内の生息状況及び被害状況は、

南地区のほとんどの圃場周辺に見られる

他、仏坂ため池(小樽郷)でも確認がある。

被害は、田植直後の苗が食害に遭い、ほとんど無くなったケースもある。

農業者などへの啓発は、

農業者との座談会でリーフレットを活用

し、被害防止の啓発を行う。

つばき やき
再発防止には、議会、行政の全力投球が必要。



ジャンボタニシ



三石 孝 議員

ケーブルテレビの整備は

町長

地理的要因の未整備に支援する

議員 造園業者の話によると、つじの剪定は、花が散った6・7月が適期

町長 シルバー人材センターに剪定・施肥・防除を、21の河川愛護団体に除草・清掃を委託している。

議員 つじの剪定や伐採の方法は、

町長 桜づつみ河川公園遊歩道は、多くの町民がウォーキングやジョギングに利用し、町外からも散策に訪れている。しかし、管理が行き届いておらず、利用者に不快感を与えている。

町長 地理的要因で普及が難しい地域には、何か支援ができないか検討する。

議員 今後の整備・普及をどのように考えるか。

町長 情報の伝達方法にケーブルテレビ（データ放送を含む）がある。その普及は、民間の企業努力でサービスエリアが拡大しているものの十分でない。

町長 今後は、適した時期に剪定を行って整備する。

議員 野々川郷は郷民の総意で、町に支援を要望している。地区の協力でダムができ、町の上水道では、今や欠かせない水源と



緑はサービスエリア

町長 ケーブルが届いていないハード的な部分について、何らかの支援を行う。

ケーブルテレビは、既存のテレビを使い、データ放送もある。町民が好きな時に積極的に情報を入手できる。まさに『新様式』である。



クラブ活動の指導員に支援

教育長

検討していきたい

議員 学力向上のため、学力向上支援員を各学校に配置されているが、どのような活動・支援を行っているか。

教育長 本町は、7名の学力向上支援員を配置している。小中学校教員免許以上の保持者で、授業中に

議員 体育協会などと協働し、外部指導者の協力を考えてはどうか。

教育長 スポーツ少年団、部活動振興会の指導者に加え、スポーツ推進委員を交え、何らかの意見交換

議員 の場が検討できないか研究したい。

教育長 指導員の育成、確保のため支援はできないか。町として必要なところには検討していきたい。

学力、体力の向上には、目標を掲げ、それに向かって努力することが大切だ。これから本町を担っていく子供たち頑張れー！



コロナ禍での皆さんの思い



いつになったら終わるのかなあ？
 コロナの影響で祭りなどが中止になり、楽しいことがありません。
 少しでもコロナを忘れて早くみんなで集まって飲みたいです。

湯無田郷
 木村 定二さん



町行政よりご支援いただきありがとうございました。これから、町民皆さまに恩返しできるように前向きに頑張っていきたいと思います。

株式会社 新栄
 山脇 慎太郎さん

子供たちの不安の声も...



中学3年男子

- ・ 休校などで、学習面に遅れがあり、受験が心配。オンライン授業があればと思う。
- ・ 部活動や学校行事が思うようにできなかった。コロナが早く落ち着けばいいと思う。

中学1年女子

- ・ 波佐見でも感染者が出て、コロナが身近になって怖い。
- ・ 学校でマスクをしていない人がいて近づきにくい。



屋台食中心だった東南アジアでは、コロナの影響で家で食べる食文化が定着しつつあります。おしゃれな波佐見焼がSNSを通じて発信され、世界中で使われ始めています。

西海陶器株式会社
 小林 善輝さん



議長
 発行責任者
 百武辰美

委員
 副委員長
 委員
 北村清美
 福田勝也
 岡村達馬
 岡村有喜
 田添有喜
 岡村真由美
 澤田昭則

議会広報調査特別委員会

12月は、新たに、官製談合再発防止等調査特別委員会を発足させた、目まぐるしい一ヶ月でした。
 今号より、新人議員4名を含む新たな体制となりました。
 編集にあたり、一番大切にしていることは、皆様の目線に沿った、読まれる『議会だより』づくりです。4年間頑張りますのでよろしく願います。
 (北村 清美)

編集後記

